

採点基準 英語

全体の基準

- *原則として次の基準に従うものとする。各問ごとの追加基準がある場合はそちらが優先される。
- ・原則として減点方式により採点する。
- ・各小問は、全体をいくつかの部分に分けて点数を分配する。
- ・部分ごとに、解答が明らかに未完である場合、その部分については点数を与えない。
- ・同一の誤りが複数回ある場合、減点は原則初出の1回のみとする。
- ・誤字・脱字・スペルミスは、1語につき**マイナス1点**。但し、文字の大小の誤り、句読点・コンマ・ピリオドに関する誤り、iやjのドットの欠如は、原則不問とする。

和訳問題（第1問・第2問）の基準

- *以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳や文脈上不自然な訳は、1語につき**マイナス1点**を原則とする。但し、意味・構文上大きな誤りは**マイナス2点**とする。訳漏れの場合は単語の種類によって次を原則とする。即ち、**修飾語**は欠如しても意味・構文に影響が少ない場合、**マイナス1点**。**内容語**と**機能語**は欠如すると意味・構文に影響するので、原則**マイナス2点**とする。

単語の種類	誤訳	欠如
修飾語（限定形容詞・副詞・冠詞・助動詞）	-1	-1
内容語（名詞・代名詞・動詞・叙述形容詞）	-1	-2
機能語（従属接続詞・前置詞）	-1	-2

- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳は、単語の誤訳に倣う。文脈の把握ミスによる致命的な誤訳は、1語につき**マイナス3点**を原則とする。

英作文問題（第3問・第4問）の基準

- *小問ごとに別記の基準がない場合、以下の項目に関して、1点から3点の幅で減点する。
- ・単語の誤訳・訳漏れは、上記和訳問題に同じ。
- ・イディオム・文法・語法・構文の知識不足による誤訳及び適切性を欠く訳は上記和訳問題に準ずる。また、SOVの語順、従属接続詞や前置詞の後置など致命的な構文上の誤りは、1語につき、**マイナス3点**を原則とする。

配点表			
大問	配点合計	小問等	配点
1	50	(1)	10
		(2)	25
		(3)	3×5
2	50	(1)	20
		(2)	10
		(3)	20
3	25	—	25
4	25	(1)	5
		(2)	5
		(3)	5
		(4)	10
大問計	150	小問計	150

第1問(1) 配点 10

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。③が不適切なものは、マイナス2点。
 (2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

要素	配点	各要素の正解例
①外因である可能性があっても	4点	・「外因」=外的要因/外的圧力/状況[環境]に原因がある ・「可能性があっても」=可能性が高くて/～でありそうでも
②内因と考える	4点	・「内因」=内的[精神的]要因/内的圧力/行為者自身[のどこか/の資質/の内情]に原因がある[を反映している] ・「考える」=思う(など広くこの類義表現)/～に帰する[にあるとする]
③解答形式:文末との不整合	-2点	・日本語として不自然なものは-2

* 各要素間の関係及び全体性:要素が揃っていても、余計な語句や接続語の不全により意味が異なる場合は、総点からマイナス4点。

第1問(2) 配点 25

部分①: In each case of presidential leadership, he or she makes the best assessments possible considering as much of the relevant circumstance and personal character and capacity as possible.
 大統領のリーダーシップに関するいずれの場合でも、関連する状況や個人の性格および能力に関するできるだけ多くの事柄を考慮しながら、リーダーシップの研究者は考えうる最善の評価を下す。

要素	配点	各要素の正解例
In each case of に関するいずれの場合でも	10点	In case of=～に関する[～]の場合[ケース/事例]で/～に関して[ついて(言えば)] each=いずれの[どの]…も/各/各々の/全ての
presidential leadership, 大統領のリーダーシップ		presidential=大統領(職)の leadership=リーダーシップ/指導者(として)の資質/統率[指導]力
he or she (リーダーシップの)研究者は		he or she=(リーダーシップの)研究者[学者](たち)
makes the best assessments 最善の評価を下す		makes assessments=評価を下す/評価する the best=最善[最良/最適]の
possible 考えうる		possible=考えうる[ありうる](中で)/可能な限り(の)
considering 考慮しながら		considering=(付帯状況)考慮しながら/考え(て)
as much of ... as possible できるだけ(多くの)事柄		as ... as possible=できるだけ[限り] much of=欠如/～に関する[～](多くの)事柄
the relevant circumstance 関連する状況		the relevant=関連する/関係のある circumstance=状況/環境

and personal character や個人の性格		personal=個人の／個(性) ex.「個性と能力」 character=性格／人格／人柄／人となり
and capacity および能力を		capacity=能力／度量
<p>部分②: One difficulty is while we can be aware of, if we choose to look, the external pressures acting on a president, we cannot get inside their heads, nor could we even if they were alive, to study the conflicting internal pressures with which they wrestled.</p> <p>1つ問題なのは, 大統領に影響を与えている外的圧力を, その気になって見れば, 気づくことも可能だが, 大統領が格闘した相反する内的圧力を調べるために, 大統領の頭の中をのぞくことはできないし, また, たとえ大統領が存命中でも, それができないことだ。</p>		
要素	配点	各要素の正解例
One difficulty is (1つ)問題なのは	15点	One=欠如／1つ／ある difficulty is=問題[困難／難点／難しいの／困るの]は…である ／難しさを挙げれば／困った[困る]ことに
while ～だが		while=～だが／～である一方で
we can be aware of, 気づくことも可能		we can=～ことも可能だ[できる]／～こともある be aware of=～に気づく／～を知る
if we choose その気になって～れば		if we choose to=～することを選択すれば／その気になって～ すれば／～したいと思えば／～しようとするなら／～することに 決めれば * 時制は不問
to look, 見		look=見る／探す／見つける(不定詞名詞用法)
the external pressures 外的圧力を		external=外(部)的／外部の／(心の)外側(から)の pressures=圧力／プレッシャー
acting on a president, 大統領に影響を与えている		acting on=～に影響を与えている[与えた]／～に働く[作用する ／降りかかる] * 動名詞の訳し方も可 * 時制は不問 a president=大統領
we cannot get inside のぞくことはできない		we cannot=～ことはできない[ありえない] get inside=～(の中)をのぞく[知る／に立ち入る／に入り込む] ／～の考え方を知る[理解する]
their heads, 大統領の頭の中を		their=大統領の／彼らの heads=頭／心／脳
nor could we し, それができない		nor=(また[同様に／やはり])～ない could we=(それが)できる
even if they were alive, たとえ大統領が存命中でも		even if=(たとえ)～でも they=大統領／彼ら were alive=存命中／生きている[いた]
to study 調べるために		to study=～を調べる[研究する／学ぶ]ために(不定詞副詞用 法)
the conflicting internal pressures 相反する内的圧力を		conflicting=相反する／(互いに)矛盾する／対抗する internal=内(部)的／内部の／(心の)内側(から)の／頭の中 の／脳内の pressures=圧力／プレッシャー

with which ~ wrestled. 格闘した		with which ... wrestled=格闘した／戦った
they 大統領が		they=大統領／彼ら

第2問(1) 配点 20

部分①: This extraordinary fossil—bearing feathers as well as teeth, claws, a bony tail, etc.—was just the sort of creature that Darwin’s theory of evolution by natural selection predicted should exist.
 羽毛に加えて、歯、爪、骨のある尾などを備えた類まれなこの化石は、自然淘汰による進化というダーウィンの理論が、存在を予言していた類の生物に他ならなかった。

要素	配点	各要素の正解例
This extraordinary fossil 類まれなこの化石は	10 点	This=この extraordinary=類まれな／異常[奇妙]な／驚くべき／すばらしい／特別な fossil=化石
—bearing feathers 羽毛を備えた		bearing=備えた／持った／残した／有しており * 分詞構文／形容詞用法の解釈共に可 feathers=羽毛／羽(根)
as well as teeth, claws, a bony tail, etc.— に加えて、歯、爪、骨のある尾など		A as well as B=Aに加えてB/AだけでなくB/Aと同様B * ABの順は不問 teeth=歯 claws=(かぎ)爪 bony=骨のある[通った]／骨ばった／骨のような／痩せこけた tail=しっぽ／尾 etc=など／等(々)
was just the sort of creature 類の生物に他ならなかった		was=であった just= 欠如 ／まさに／～に他ならない／ちょうど the sort of=(種)類の～／～の種類 creature=生物
that —		that= 欠如 (連鎖関係代名詞の that)
～ should exist. 存在を		should= 欠如 ／はずである／べきである／可能性がある／だろう exist=存在する
Darwin’s ダーウィンの		Darwin’s=ダーウィンの * カタカナ表記ミスは不問
theory of evolution 進化という～理論が		theory of evolution=進化するという理論／進化論
by natural selection 自然淘汰による		by natural selection= 自然淘汰[自然(の)選択]による[[に従って]
predicted 予言していた		predicted=予言[予知／予想／予測／想定]した[する]／言われた／考えた * 時制不問

部分②: The feathers left no doubt that it was a bird.
 羽毛があることから、それが鳥であることに疑問の余地はなかった。

要素	配点	各要素の正解例
----	----	---------

The feathers 羽毛があることから	4 点	The feathers=羽毛／羽(根) (があること) (によって)
left no doubt that ことに疑問の余地はなかった		left no doubt that=～ことに(に関して)疑問[疑い](の余地)はなかった／～に違いなかった／～は明らか[確か／確定的]だった
it was それが～である		it=欠如／それ／この化石(になった生物)／始祖鳥 was=欠如／だった／である * 時制不問
a bird. 鳥		a bird=鳥(類／群) (の化石)
<p>部分③: What deserves to be noted is that the creature also had a suite of lizard-like traits that pointed to a reptilian ancestry. 注目に値するのは、この生物には祖先が爬虫類であることを示すトカゲに似た特徴もそろっていたことである。</p>		
What deserves to ~ is that ～に値するのは	6 点	What=こと(に * 副詞的訳出も可)／なのは／点 deserves to=～べき／～に値する is=欠如／である that=欠如／こと
be noted 注目		be noted=注目[特筆](される／する)
the creature also had この生物には～も…いたことである		the creature=この[その]生物 also=も／また／さらに had=持って[持ち合わせて／備えて]いた／あった／(そろって)いた
a suite of lizard-like traits トカゲに似た特徴～そろって		a suite of=一群の／ひと組の／ひとそろいの／～の組み合わせ／そろって(いた) lizard-like=トカゲに似た[のような] traits=特徴／特色／特性／特質／性質／個性
that pointed to ことを示す		that=欠如 * 非制限用法の訳出(訳し下し)も可 pointed to=(指し)示す／示唆する／ * 時制不問
a reptilian ancestry 祖先が爬虫類である		reptilian=爬虫類の[が／を] a...ancestry=祖先

第2問(2) 配点 10

【基準・配点】

- (1) 次の要素に以下の点を配する。要素の欠如はその配点を減じる。⑥が不適切なものは、マイナス2点。
 (2) 以下に言及のない(誤字などの)ミスは1つマイナス1点を原則とする。

要素	配点	各要素の正解例
①鎖のように直線的にではなく	4点	・「鎖のように」=鎖状(鎖のような)/線状/線型/直系的[直接の祖先から成る/直接に続く系統から成るもの]ではなく ・「ではなく」=であるかわりに
②樹木のように分岐しながら進行する	4点	・「分岐しながら進行する」=枝状/紆余曲折を経る/枝分かれする/曲がりくねる/ねじれる
③解答形式:文末との不整合	-2点	・日本語として不自然なものは-2

* 各要素間の関係及び全体性:要素が揃っていても、余計な語句や接続語の不全により意味が異なる場合は、総点からマイナス4点。

第2問(3) 配点 20

部分①: This = 始祖鳥のような奇妙な生物の呼び方を「失われた環」から「移行型」や「中間型」に変えること

要素	配点	各要素の正解例
「失われた環」	6点	A:「失われた環」=失われた鎖/ミッシングリンク/ *カタカナ表記ミスは不問 *「」の有無は不問
A から		※下記「変える」の減点なしの例参照
「移行型」		B:「移行型」=過渡(段階)の形態
「中間型」		B:「中間型」=途中(段階)の形態
B や B に		※下記「変える」の減点なしの例参照
変える		「A から B に変える」=A より B を好む[選ぶ]/A から B に変化させる[入れ替える/交替する/転換する/移す/改める]/A でなく B を用いる

部分②: makes a big difference because terminology shapes our ideas and the way dramatic changes in the course of life are interpreted.

大変な違いである。なぜなら、専門用語は私たちの考え、および生命の過程における劇的な変化の解釈法を形成するからである。

要素	配点	各要素の正解例
makes a big difference (大変な)違いである	6点	makes a big difference=大変な違い[差]である/違いは大きい/重大[一大事]である *bigの欠如は不問
because なぜなら~からである		because=なぜなら~から/というのも~から
terminology shapes our ideas and		terminology=(専門)(用)語/術語/言葉(遣い)/単語

専門用語は私たちの考え および～形成する		shapes=形作る／形成する／影響する our ideas=(私たち[人間／我々]の)考え(方)／概念 and= 欠如 ／および／や
the way 法を		the way=仕方／(方)法／どう～するか(ということ)
dramatic changes ～are interpreted 劇的な変化の解釈		dramatic=劇的[ドラマチック]な changes=変化 are interpreted=解釈[解説／説明](される)
in the course of life 生命の過程における		in the course of=～の(進化)過程[経過／流れ](の中の) life=生命／命
<p>部分③: Before (and even after) Darwin, naturalists sometimes saw species as part of a ranked hierarchy in which newer forms were somehow better than what came before. ダーウィン以前(さらに以後でさえ), 動植物の研究者は時に種を序列化された階層構造の一員で, その内部では新しい形態のほうが何らかの点で以前の形態より優れていると見なすことがあった。</p>		
Before (and even after) Darwin, ダーウィン以前(さらに以後でさえ)	8 点	Before=以前／～より前 and= 欠如 ／さらに／いや even after=(それ)以後(も[でさえ])／(その)後(も) Darwin=ダーウィン(の時代)／ *カタカナ表記ミスは不問
naturalists 動植物の研究者は		naturalists=博物学者／動植物の愛好家
sometimes 時に		sometimes=時に／時として
saw species as 種を～と見なすことがあった		saw A as B=AをBと考えた[見なした] species=(生物)種
part of a ranked hierarchy 序列化された階層構造の一員で		part of=～の一員[一部]／～を成す[形成する] ranked=序列化された／ランク付けのある hierarchy=階層[階級](構造)／ヒエラルキー[ハイアラーキー] *カタカナ表記ミスは不問
in which newer forms その内部では新しい形態		in which= 欠如 ／その(階層構造の)内部では／そこでは newer=(より)新しい／新しく現れた forms=形態／種
were somehow better than のほうが何らかの点で～より優れている		somehow=何らかの点[理由]で／なぜか／どういうわけか／何かしら were better than=～より[に比べて]優れている * 時制不問
what came before. 以前の形態		what came before=以前の[以前出現した]もの／それ以前の形態[種] * 時制不問

第3問 配点 25

部分①: 車内で目につくのはスマホに没頭する乗客ばかりというすっかり見慣れた光景の中で
 The first thing we notice on a train is that passengers are enthusiastically using their smartphone. We take this sight for granted. On one such occasion,
 You may be surprised how many passengers spend lots of their commuting time on their smartphone. But this is a very familiar sight. One day,

要素	配点	各要素の正解例
車内で目につくのは	6点	「目につく」=one notice [catch sight of, realize, see] / catch one's eye / attract [capture, catch, come to, draw, gain, obtain] one's attention 「車内で」=on [in] a [the] train(s) [bus(es), car(s)] / commuting
～ばかり		「SV は～ばかり」=It is only [just] ~ that SV / what [all (that)] SV is [are] ~ / The first thing SV is that [,] ~ / One may be surprised (to see) wh-節
スマホに		「スマホ」=a [the, one's] smartphone [smart phone]
没頭する		「～に没頭する」=be absorbed [caught up, engaged, immersed, indulged, involved, lost, occupied] in / be absorbed [engaged, involved, occupied] with / be devoted [given up] to / focus (one's) attention [mind] on / enthusiastically [with great enthusiasm] use [play on] / do nothing but use / be busy [occupied in] using / spend lots of one's time on
乗客		「乗客」=passengers / riders / people on board / people / persons
(という) (すっかり) 見慣れた (光景の中で)		「見慣れた」=common / everyday / familiar / ordinary / plain / usual / take O for granted / be very [well, pretty] used to (seeing) O / it is quite natural to see [that S see]

部分②: 腕時計が今も存在感を失わないのはなぜかと、ふと疑問に思った。
 a question popped into my head: Why is it that people still prefer to wear a watch?
 I found myself asking this question: What is the reason for wearing a watch?

要素	配点	各要素の正解例
(ふと) (疑問に) 思った	4点	「(ふと) (疑問に) 思った」= despite oneself [before I know it, without knowing it, by accident, casually, incidentally, somehow, suddenly, unintentionally, unthinkingly] / find oneself doing / happen [chance] to do / 「疑問に思う」=wonder [think] wh-節 / ask (oneself) a question (of) wh-節 / have a question wh-節 「ふと疑問に思った」= (人が主語) hit on an idea wh-節 / (疑問が主語) a question [it] came to mind [came to me / occurred to me] *mind [head]の前の前置詞混交・所有格の有無は不問
腕時計が		「腕時計」=(wrist) watch
(今も) 存在感を失わないのは		「存在感を失わない」=maintain [assert, exert, have, don't lose] a [one's] (strong) presence / be a must-have item / fascinate us / people (prefer to) wear (a watch) / wearing (a watch) / *従属節を使っている場合の時制の一致は不問。
なぜかと		「なぜか」=Why do SV? / Why is it that SV? / What is the reason for [the purpose of]? (及びこれらの間接疑問) /

部分③(下線部): 「腕時計が今も存在感を失わない(スマホがあるのに、依然として人々が腕時計をする)」理由で、直後の「ブランド品が悪いのではなく、身に着けるものは本人の人となりを表す」を導く内容。解答は「ブランド品が「地位の象徴」や「ファッション」になることを通して周囲の高評価を求めようとする考え方を批判的に記している。

(例 1)それは多分、腕時計がステイタス・シンボルだからだ。人は高級ブランド品を身につけることで自分が欲する他人の尊敬や称賛を得られると思しやすい。
 It's probably because watches are a symbol of prestige. People tend to think they can gain the respect and admiration they want from others by wearing luxury brand products.

(例 2)今ではスマホで時間が分かるから、求めているものは実用性ではなくファッションなのだ。残念ながら、高価なブランド品を身につけるだけで自分をかっこよく見せられると信じている人が多い。
 Now your smartphone can tell you the time, what you want is not utility but fashion. Unfortunately, many people believe just putting on expensive brand goods makes them look stylish.

(例 3)私が嘆かわしいと思うのは、分不相応な高いブランド時計を人に見せびらかし優越感を味わうためだけに身につける人がいることだ。彼らは自らを恥じるべきだ。
 It seems lamentable to me that some people wear an expensive brand watch that is beyond their means only to show it off and feel superior to others. They should be ashamed of themselves.

(1)依然人々が腕時計をする理由	8 点	文脈上、腕時計をする理由として不自然であるものは-2
(2)ブランド品着用者の品格が問われるような考え方や態度		「ブランド／高級／高額」に言及がない場合は-2 「品格」に言及がない場合は-2 「品格」を「賞賛」する内容になっている場合は-2

部分④: 誤解のないように付け加えると、ブランド品が悪いのではなく、要は、身につける物は本人の人となりを表すということである。
 Don't get me wrong. I'm not saying that you shouldn't wear them. I'm just saying that we need to bear in mind that what we put on shows who we are.
 Let me add, to avoid misunderstanding, that brand products are not bad in themselves. I just want to say that what you wear sends signals about your personality.

要素	配点	各要素の正解例
誤解のないように(付け加えると)	7 点	「誤解のないように」=in order for you not to [that you should not] misunderstand me/to avoid misunderstanding/to make myself clear(er)
ブランド品が悪い		「ブランド品」=brand, designer 「悪い」=bad/evil/improper/inappropriate/wrong/to blame (in oneself, on one's own)/A has something wrong/it is (no) fault of A/you shouldn't wear A/it is not good to wear A/blame one for A/deny (the value of) A/reject A
要は		「要は」=What matters [counts] is that SV/My [The] point is that SV/I just want to say [emphasize] that SV/in short, SV
身につける物は		「身につける物」=what one wears [puts on]/what one carries (with one)
本人の人となり		「本人の人となり」=who [what (kind of person)] one is/one's personality
表す		「表す」=show [express, reflect, reveal, tell]/send signals about

第4問 配点 25

【基準・配点】

(1)5点／(2)5点／(3)5点／(4)10点

下記の4つの観点から採点する。

- ①語数：解答欄から想定される語数を下回る語数の解答には、各問満点を限度として減点する。
- ②文法性：文法・語法・スペルなどの誤り、および不自然な適用は各1点を基本として減点対象とする。(1箇所に複数の誤りがある場合は複数点減点することがある。)
- ③テーマ性：設問文のテーマ・会話の流れにそぐわないと判断される不自然な内容・文脈、説明不足等は、下記の要素を参考に各問満点を限度として減点する。

	配点	要素
(1)	5点	・原則、末尾が4で終わる部屋番号の病室が日本では一般に存在しない理由となっており、「死と数字の4の発音が似ている」という類似性・連想を指摘した内容であること
(2)	5点	・原則、「迷信」を定義しており、「科学的根拠のない信念」を描写する内容であること
(3)	5点	・原則、日本における「数字の4」と同様に、数字の13が西欧(back there)で「不吉な数」として忌み嫌われることを指摘した内容であること
(4)	10点	・原則、「言葉の力(を信じる起源)」の表す内容を Speak [Talk] of the devil and he will appear.(噂をすれば影)の文字通りの意味を通して説明する内容であること